サーブレットのサンプルを作ります。

# 以下の流れで行います

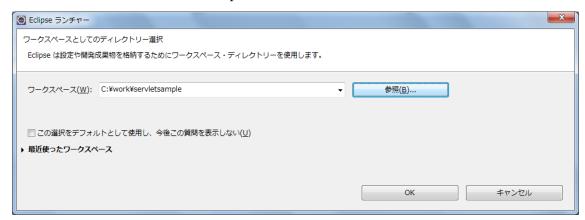
- 1. サーブレットサンプル用のワークスペースを作成する
- 2. プロジェクトを作成する
- 3. サーブレットを記述する
- 4. 実行する

次ページより詳しい手順を記載します!

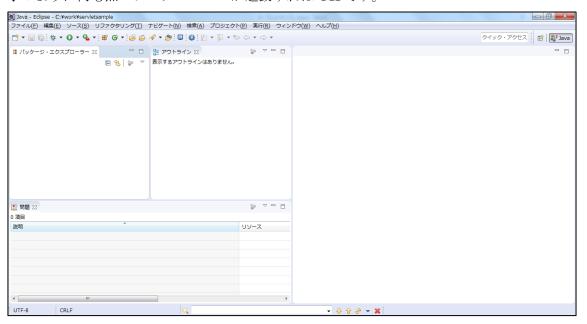
# 1. サーブレットサンプル用のワークスペースを作成する

エクリプスを起動しましょう。

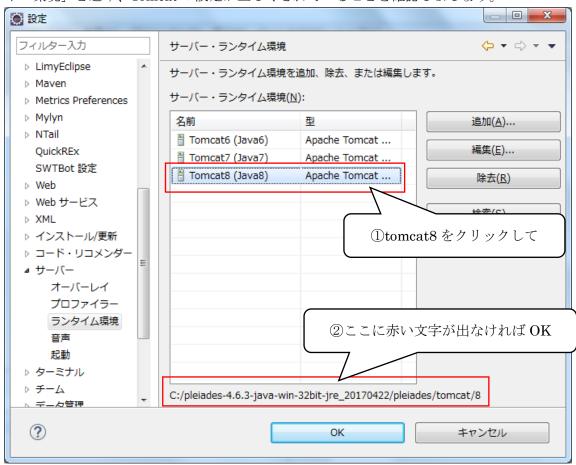
↓の画面で「c:\text{\text{\text{\$\subset}}} work\text{\text{\text{\$\subset\$}}} ervletsample」と記載します。



↓のように何も無いワークスペースが起動すれば OK です。



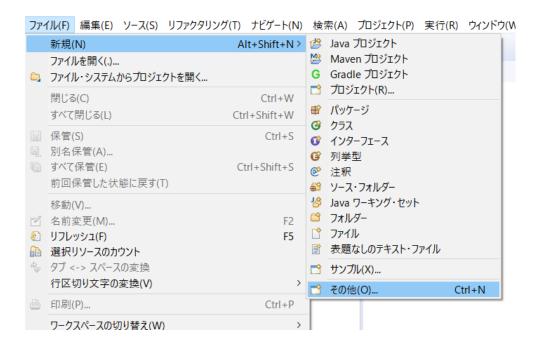
念のために、「ウインドウ」 - 「設定」で表示されるウイザードで「サーバー」 - 「ランタイム環境」と進み、Tomcat の設定が正しくされていることを確認しましょう。



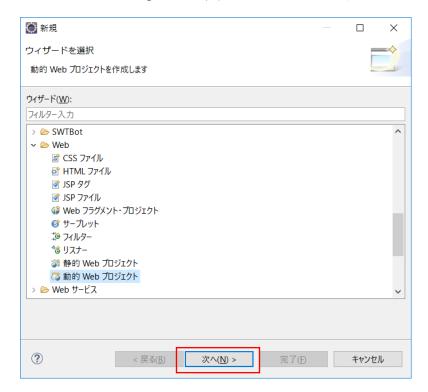
もし、設定がされていない人は以前あった、「2\_Eclipse の設定資料.pdf」を見て設定しなおしましょう!

### 2. プロジェクトを作成する

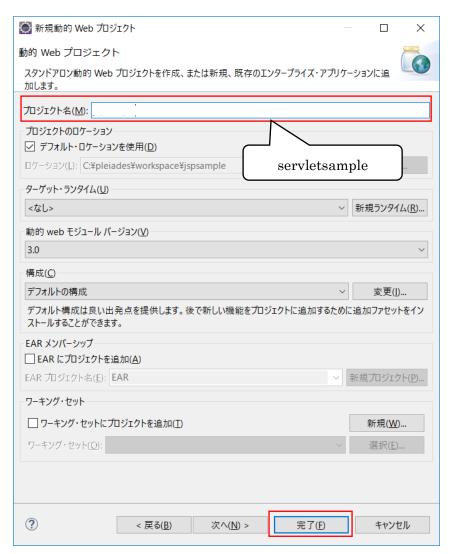
※以前あった「3\_EclipseWeb プロジェクト作成.pdf」と同じ手順です。 「ファイル」 - 「その他」を選択する



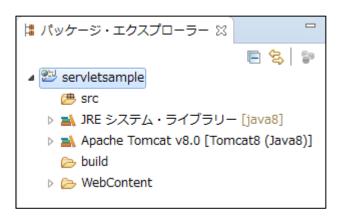
「動的プロジェクト」を選び、次へをクリックします



プロジェクト名を入力します。ワークスペース名と同じ「servletsample」にしましょう 入力したら完了をクリックします



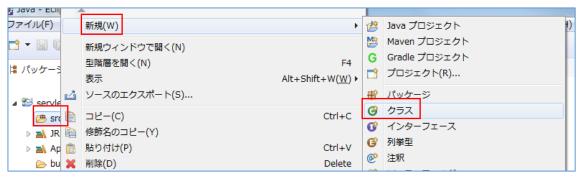
プロジェクトが作成されました。



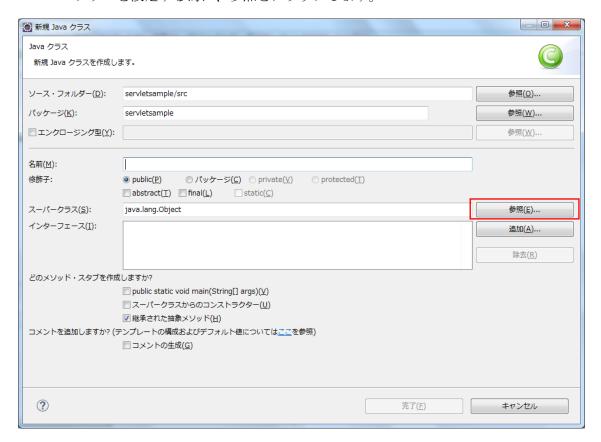
### 3. サーブレットを記述する

サーブレットを記述するためには、まずサーブレットクラスを追加する必要があります。

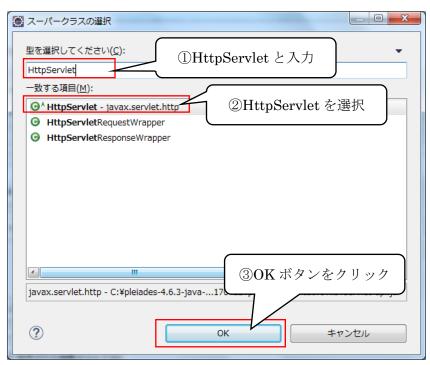
「src フォルダ」を選択して、右クリック→「新規」→「クラス」



スーパークラスを設定する為に、参照をクリックします。



表示されたダイアログで「HttpServlet」と入力し、HttpServlet を選択して OK ボタンを クリック



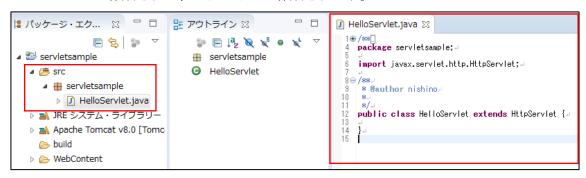
スーパークラスのところに HttpServlet が入れば OK

名前( <u>M</u> ):	
修飾子:	public( $\underline{P}$ )
スーパークラス( <u>S</u> ):	javax.servlet.http.HttpServlet
インターフェース( <u>I</u> ):	
どのメソッド・スタブを作成	しますか?

名前のところに「HelloServlet」と入力し、完了をクリック

名前( <u>M</u> ): 修飾子:	HelloServlet  © public(P)	
スーパークラス( <u>S</u> ): インターフェース( <u>I</u> ):	javax.servlet.http.HttpServlet	

HelloServlet が作成されて、スケルトンが作成されます。



以下のコードを実装します。

※import は保存した時に自動で追加されます!

```
☐ HelloServlet.java 
☐
         1⊕ /**...
         4 package servietsample; ↓
        6⊖ import java.jo.IOException; -
                    |import java.io.PrintWriter;↓
                    import javax.servlet.ServletException;

                   import javax.servlet.annotation.WebServlet;
import javax.servlet.http.HttpServlet;

                     import javax.servlet.http.HttpServletRequest;

     12
                     import javax.servlet.http.HttpServletResponse;

    15⊝ /**-
                       * @author mishino-
    16
     17
                       */4
                    @WebServlet("/hello")↓
   20
21
22⊖
                    public class HelloServlet extends HttpServlet {↓
                                    00verride₄
▲23
                                    protected void doGet(HttpServletRequest request, HttpServletResponse response).
                                                   throws ServietException, IOException {
response.setContentType("text/html; charset=UTF-8");

   24
    25
26
27
28
29
30
31
                                                   PrintWriter out = response.getWriter();↓
                                                 out.println("<html>"); dout.println("<html>"); dout.println("<html>"); dout.println("<ftEAD>"); dout.println("<ftEAD>"); dout.println("<html>"(*BODY>"); dout.println("<html>"(*BODY>"); dout.println("<html>"(*BODY>"); dout.println("</html>"); dout.println("</html>"); dout.println("</html>"); dout.println("</html>"); dout.println("</html>"); dout.println("</html>"); dout.println("</html>"); dout.println("<html>"); dout.println("); dout.println("<html>"); dout.println("); dout.println("); dout.println("); dout.println("); dout.println("); dout.println("); dout.println("); dout.println("); dout.println(
    33
    34
    35
                                    }...
    36
                   },,1
    38
    39
```

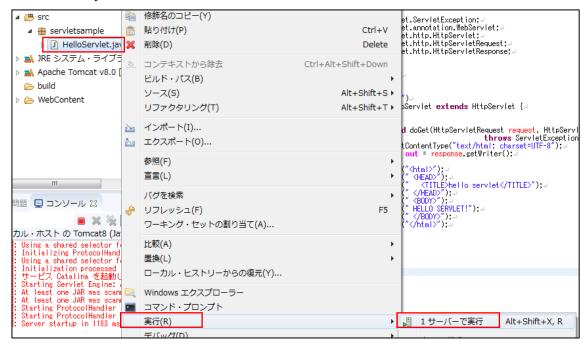
コレでサーブレットは完成です。

色々「?」な部分があると思いますが、後で解説します。 とりあえず実行してみましょう。

# 4. 実行する

実行するには

HelloServlet.java を選択して、右クリックー「実行」-「1 サーバーで実行」を選択する



↓のように表示されれば OK です。

